

創刊号発行にあたって

あんずましい三内
地域を目指す会
会長 木立精一



「あんずましいさんない」創刊号発行に当たり一言ご挨拶申し上げます。
私たちの住む三内地域は、三内丸山遺跡、青森県立美術館、青森県総合運動公園やリバーランド沖館など歴史、文化的施設等に恵まれています。また、周辺部には新青森駅や三内霊園など交通の利便性に優れ、自然環境にも恵まれた過ごしやすい地域です。

私たちは、今の子どもたち、その次の子どもたち、さらには未来の子どもたちが、このような、また思いやりに溢れた三内地域に対して愛着を深めることができるように、より良い姿で引き継いでいきたいと思います。

この会は、昨年度発足したばかりの新しい組織です。様々な活動に取り組んでまいりました。今後とも、積極的にPRをし、地域の皆さんとともに各団体とも連携、交流を深め、いろいろな取り組みをしてまいります。

さらなる皆様方のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

活動について

「あんずましい三内地区を目指す会」は、「歴史、自然を次世代につなげる思いやりのあるまち三内」をテーマとして、活力とやさしさのあるまちを目指して、活動を進めています。

1 文化を語り継ぎ
自然を大切にする
まちづくり

3 子どもと
お年寄りにやさしい
まちづくり



2 つながり大切に
みんなで楽しく
まちづくり

4 地域の魅力を生かした
にぎわいと元気あふれる
まちづくり

地域の目指す四本柱

今までの活動内容

三内サマークリーン大作戦、安心安全マップづくり、高齢者の見守り・・・など。

H25年度
三内サマークリーン
大作戦



▲PRパンフレット
安心・安全マップ▶



◀役員委員会



◆団体紹介1

三内丸山子ども会

「三内丸山子ども会」は、昭和50年3月に発足しました。現在、子どもが26名、活動をサポートする育成者(子どもたちの父母や地域の方々)が20名で構成されています。

主な活動は、クリーン作戦、パン作り体験(ふれあい農園)、陶芸体験(ふじわら陶芸)、スケートやボーリング、青函交流事業への参加、新春子ども会(もちつき、恵方巻き作り)など。

長年、会長を務めてきている手塚栄子さんは「子どもたちがやりたいことを実現できるように、意見を聞きながら計画を立てています。様々な学年の子ども同士の活動の中で、仲間意識が芽生えたり、縦の繋がりの中から学ぶことも多々あると思います。」と熱い思いを語ってくれました。また、「様々な子どもたちとの出会いの中で、私たち育成者も接し方など学んでいます。」という言葉からは、常に前向きな手塚さんだからこそ、継続に結びついていると感じます。

かつて会員だった子どもたちが大人になり、自分の子どもを連れて参加することもあるようで、このような大人のあたたかな眼差しの中で、子どもたちが成長していくことの大切さを改めて感じました。

三内丸山育成会会長 手塚栄子 017-781-3133



9月16日の敬老会では、ダンスを披露。「とても楽しく踊ることができました。」「子ども会は様々な活動があり、これからも続けていきたい。」素敵な笑顔でした。

◆団体紹介2

三内を美しく元気にする会

「三内を美しく元気にする会」は、青森市の「健康をつくるまちづくり支援事業」(平成14～17年度)により、市内各地に組織された、市民が主体となって地域の資源や特性を生かして健康なまちを目指すまちづくり団体の一つです。

「三内を美しく元気にする会」は、美しい環境の中でいつまでも元気に暮らし続けることができるまちづくりを目指して活動しています。

(1)地域の魅力を再発見するウォークや、病気や介護などを学ぶ学習会を開催して、地域住民の健康づくりを推進する活動、(2)沖館川周辺のごみ拾いや草刈り、さらに蛍やトンボなどの生き物観察会を通して、三内地域の自然を美しく保ち続ける活動、(3)親子で参加してのものづくり(凧、竹馬、布ぞうりなど)教室を開催して、世代を超えた心の交流を図り、子どもの生きる力を育む活動を行っており、他に三内霊園の有名人等の墓碑案内も行っています。

会長の武井良三さんは、「当会も平成17年4月に発足してから、来年で10年目になります。今後も地域に暮らしている住民の声を聞き、地域のさまざまな団体と連携を図りながら、三内に住む人々そしてこの三内地域が、いつまでも美しく元気になる活動を行っていききたいと思っています。」と語ってくださいました。

三内の特性を生かした様々な企画が、今後も楽しみです。

三内を美しく元気にする会会長 武井良三 017-766-2562



自然を美しく保ち続ける活動



地域住民の健康づくり



地域の魅力を再発見するウォーク

編集後記

地域のみなさまと交流を図っていくための広報紙「あんすまいるさんない」の創刊号、みなさまのご協力により、ようやく発行に漕ぎ着けました。会のPRのほか、地域の様々な団体も紹介していきます。今回2団体取材しましたが、この三内地域には、自分の地域を愛する人々がたくさんいることを改めて感じました。今年度は11月、1月、3月に発行していきます。

三内地域の数々の魅力…。次世代を担う子どもたちに、様々な体験を通して伝えていきたいですね。(M)

◎みなさまの周辺の地域の情報などありましたら、どうぞこちらまで → あんすまいる三内地域を目指す会事務局 090-8615-1034